

| カデンツァ |

CADENZA

石川県立音楽堂 / オーケストラ・アンサンブル金沢 情報誌



OEKアーティストティック・リーダー
広上淳一 新春メッセージ

音楽堂、新春公演ラインナップ

2023
NEW YEAR MESSAGE

皆様の日常にオーケストラを。 2023年は「輪」を大切に。

アーティスティック・リーダー 広上淳一



賀 正！ 賀正という言葉が好きです。今年もオーケストラ・アンサンブル金沢をよろしく願っています。

今年「輪」を大切にしたいと思います。この「輪」の中には、オーケストラ、お客様、オーケストラにかかわる全ての人たちが入っています。オーケストラの活動の芯の部分でお客様と信頼関係を結び、そして愛していただきたい。これは一朝一夕ではできません。微熱の愛情を注いで、ゆっくりと積み上げていきます。

森保監督率いるSAMURAI BLUE(サムライブルー)は私達に、日本とそして日本人の素晴らしさを伝えました。彼らは長い年月をかけて沢山のことを一緒に乗り越えてきたのだと思います。選手、監督とサポーターが信じあって感動を創る。私達OEKもお客様とそのような信頼関係を築きたいですね。

OEKには岩城先生が残したレガシーがあり、その後、井上先生、ミンコフスキさんの残したレガシーがあります。それをどう花咲かせるのが私の仕事だと思っています。

オーケストラがお客様に素晴らしい演奏を届けることは勿論のことですが、今の時代、それだけではホールは満席になりません。上手い楽団というだけでなく、皆様に愛される楽団になるよう、今は様々な種を撒き、少しずつ芽吹くように願っています。まず具体的には、今年、県内10か所以上に出向きます。小・中・高校生の学生の皆さんにも会えることを楽しみにしています。皆さんが集まっている場所に突然現れ演奏するというサプライズ企画もあります。また夜は、手に指揮棒ではなく盃を持って居酒屋に出没し、地元の皆さんとお酒を酌み交わしたい。若い指揮者・ソリストの登用の場を積極的ににつかっていきたいです。

とにかく地域の皆様の生活に私たちの活動が溶け込み、オーケストラが特別でなく日常になってほしい。音楽っていいな、オーケストラって気軽に聴いていいんだ、そしてあの方がリーダーなんだから、クラシック音楽という垣根を取っ払ってもらえたら嬉しいです。リピーターを沢山作り、音楽堂には素晴らしいオーケストラがある、ということがクチコミで広がればと思います。

Orchestra Ensemble Kanazawa
Artistic Leader

HIROKAMI Junichi

HAPPY
NEW
YEAR!

Orchestra Ensemble Kanazawa

JAN → MAR
2023

オーケストラ・
アンサンブル金沢

定期公演

OEK SUBSCRIPTION CONCERTS JAN-MAR 2023

2023年も石川県立音楽堂で魅力的なオーケストラの公演の数々をお楽しみください! text by 渡辺和(音楽ジャーナリスト)

1/7
(土)

第462回定期公演フィルハーモニー・シリーズ ニューイヤー・コンサート

OEKと共に新年を祝おう! ベートーヴェン交響曲第8番と
チャイコフスキー唯一のチェロ協奏曲を宮田大と

川瀬賢太郎(指揮)



宮田大(チェロ)



新年早々に難しそうな現代音楽か、と不安になる必要はない。確かに20世紀後半を代表するルーマニア生まれの巨匠リゲティながら、まだブダペストでコードイに学ぶ才気煥発な若き日の秀作である。広大なオーストリア・ハンガリー帝国に鳴る様々な民俗の響きを纏めた、現代風味の東欧ラブソニータ。協奏曲とされるも、OEKメンバー全員が独奏者。管楽器が踊りヴァイオリンが合いの手を入れ、遙かルーマニア平原をホルンの響く幻想を、名手達の至芸で堪能あれ。

チャイコフスキーが遺した唯一のチェロ協奏曲を独奏するのは、今や日本を代表するチェリ

ストとなった宮田大である。楽しい小唄が超絶技巧で盛り上がる名曲だが、実は作曲家と初演チェリストの間での激しいやりとりが未だに尾を引く問題作なのだ。宮田は、作曲家と演奏家のどちらの側からアプローチするのか。

去る秋からパーマネント・コンダクターに就いた川瀬賢太郎も、もやは若手とは呼べない存在感を示しつつある。最初の新年を祝うベートーヴェンが、「運命」でも「田園」でもなく、ミンコフスキとの驚異の名演が未だに耳に残るコンパクトにしてピリリと辛い第8番とは、OEKを良く知ったチョイスだこと。



コンサートホール ◎14:00開演(13:00開場)

○指揮:川瀬賢太郎(OEK パーマネント・コンダクター)
○チェロ:宮田大

リゲティ/ルーマニア協奏曲
チャイコフスキー/ロココ風の主題による変奏曲
ベートーヴェン/交響曲 第8番

【全席指定】
SS席 ¥7,000/S席 ¥6,000
A席 ¥5,000/B席 ¥3,000
スターライト席 ¥1,500
*25歳以下当日券50%割引(要証明書類/前日より予約可能)

1/28
(土)

第463回定期公演 マイスター・シリーズ

フランス音楽傑作の数々を、色彩豊かなオーケストラの響きで味わい尽くす。俊英指揮者ピエール・デュムソー

ピエール・デュムソー(指揮)



どのオーケストラよりもフランス音楽界のトレンドを知るOEK、フランスものオペレッタやバレエを振らせればその洒落た空気作りに追随する若手無しと評判のデュムソーが、2019年日本デビュー以来の再登場だ。まずは名刺代わりに、母国の中堅作曲家ブノワ・メニューがブルゴーニュのオーケストラのために書いた10分程の響きで、21世紀フランスの香りや指揮の技巧を披露する。

ラヴェルの「マ・メール・ロワ」は、子供のための音楽の最高傑作。作曲家の友人の子供たちがピアノ連弾でマザーグースのお話を楽しむことを考え書いた楽譜を、オーケストレ

ーションの名人本人が小管弦楽の為にバレエ化。透明でありながら室内管の規模を遙かに超えた豊かな響きの現出は、デュムソーの本領発揮だろう。

そして、プーランクである。小交響曲などという無骨な翻訳でなく、小粋なシンフォニエッタというカタカナ書きがこれほど似合う曲もない。センスの良さが詰まる冒頭楽章から、快活なスケルツォ、クラリネットが歌うアンダンテ。奔放なフィナーレは、往年のフランス映画を眺めるよう。モーツァルトが20世紀半ばのフランスに生きていたら、こんな音楽を書いたのだから。



コンサートホール ◎14:00開演(13:00開場)

○指揮:ピエール・デュムソー
メニュー/アン・レゾナンス(共鳴の中で)
ラヴェル/マ・メール・ロワ(バレエ全曲版)
プーランク/シンフォニエッタ

【全席指定】
SS席 ¥6,000
S席 ¥5,000
A席 ¥4,000
B席 ¥3,000
スターライト席 ¥1,000

*25歳以下当日券50%割引(要証明書類/前日より予約可能)

2/5
(日)

ファンタスティック・オーケストラコンサート

あり得なさそうな出会い。一柳慧の遺作 ヴァイオリンと三味線の二重協奏曲と西村まさ彦が語る動物の謝肉祭

西村まさ彦(語り)



板倉康明(指揮)



誰もが知るサン＝サーンスの人気曲と一緒に長老の遺作とフランス気鋭作曲家の近作を演奏するなど、板倉康明の他に誰が考えよう。東京シンフォニエッタ音楽監督で、現代の室内オーケストラ作品を次々と紹介する異才は、「現代作品を追求するアプローチは、結局クラシック作品を現代の日本に生かす方法だとも考えています」と語る。確かに「動物の謝肉祭」に並ぶ小品が醸し出すブラックジョーク紙一重のエスプリは、21世紀初頭に相応しいかも。ましてやナレーションが一筋縄ではいかぬクラシック通の西村まさ彦というのだから、何が起こるか想像も付かない。

OEKの委嘱に尺八との共演で応えファンを驚かせた一柳慧は、最期の作品としてヴァイオリンと三味線の対話を遺した。あり得なさそうな出会いが、水墨画のような静謐な世界となって広がる。

フランス人作曲家モンタルベッティが画集から得たイメージを音にした魅力的題名の近作も、沢山の打楽器を従えた小編成オーケストラを前にどんな音がするか心配になるかも。でも印象派音楽好きなら心配ご無用。響いてくるのは、窓の向こうから鐘の音や都会の喧噪、あるいはキラキラした夜の街の灯りか。



コンサートホール ◎14:00開演(13:00開場)

○語り:西村まさ彦 ○指揮:板倉康明 ○ヴァイオリン:近藤薫
○三味線:本條秀慈郎 ○ピアノ:平井卓、藤原亜美

サン＝サーンス/動物の謝肉祭 語り:西村まさ彦
一柳慧/ヴァイオリンと三味線のための二重協奏曲
モンタルベッティ/都市へと開ける同時的な窓(2019)

【全席指定】SS席 ¥6,000/S席 ¥5,000
A席 ¥4,000/B席 ¥3,000

*25歳以下当日券50%割引(要証明書類/前日より予約可能)

2/19
(日)第464回定期公演
フィルハーモニー・シリーズ

テーマは音による対話。

鈴木優人によるC.P.Eバッハとハイドンの世界

鈴木優人(指揮&チェンバロ)



大バッハの息子カール・フィリップ・エマニュエルの緩急で連なるシンフォニアを序曲に始まる演奏会、鈴木優人が掲げたテーマは、「音による対話」だ。例えばト長調作品の中間部アダージョも、ゆっくりしたコミカルな掛け合い。ハイドンやモーツァルトの典雅な歌とは大違いだ。楽器のひとつひとつをキャラが立った登場人物と思えば、頭の中に滑稽なミニオペラブッファが展開するだろう。

小規模とはいえ管弦楽相手にチェンバロ一台で渡り合える心配になるハイドンの協奏曲だが、鍵盤ソロとオーケストラの対話として書かれた楽譜からは、ビックリするくらい独奏パートが聴こえる。現代の名ピアニストがバリバリに弾き飛ばし大喝采を浴びる演奏もあり得る人気曲、どんなアプローチも可能なのが真の名曲なのである。

音の対話に馴染んできた耳には、バハ・ハイドンの「太鼓連打」は超大作に感じよう。生涯に100を越える交響曲を遺した巨匠が、ツウの領主様の個人的な楽しみではなく、現代の我々にも近いロンドンの一般聴衆を前提に手練手管を尽くした、言葉の最良の意味で「大向こうウケ」を狙った音楽だ。あちこちに仕掛けられたネタに、腹を抱えるのが礼儀かも。

コンサートホール

◎14:00開演(13:00開場)

○指揮&チェンバロ:鈴木優人

C.P.Eバッハ/シンフォニアト長調
ハイドン/チェンバロ協奏曲 二長調
C.P.Eバッハ/シンフォニア 変ホ長調
ハイドン/交響曲第100番「太鼓連打」

【全席指定】

SS席 ¥6,000/S席 ¥5,000

A席 ¥4,000/B席 ¥3,000

スターライト席 ¥1,000

*25歳以下当日券50%割引(要証明書類/前日より予約可能)

3/11
(土)第465回定期公演
マイスター・シリーズ見逃せない魅力的なヴィトマン・マジックによるOEKの変貌。
名演奏家兼指揮者兼作曲家による特別な公演

イェルク・ヴィトマン(指揮&クラリネット)



現代ドイツで最も売れっ子の作曲家ヴィトマンは、指揮者でもありクラリネット名人でもある。マルチ音楽家がまず披露してくれるのは、自身の独奏を前提にした大先輩メンデルスゾーンの若書きクラリネット・ソナタ緩徐楽章のミニ協奏曲へのアレンジ。弦をバックにハーブとチェレスタが振り撒くキラキラした響きや、ときとして行方知れずになりそうな合奏の彼方に、21世紀の感性が光る。

北の海を描いた音による風景画「フィンガルの洞窟」であらためて大先輩への敬意を表し、いよいよ自作の「コン・プリオ」で本領発揮だ。いかにも現代音楽な奇妙で滑稽、時に不愉快な特殊奏法や特異な響きが、モーツァルトやベートーヴェン、メンデルスゾーン、はたまたマーラーまで、どこかで聴いたドイツ音楽の断片とごった煮になり、なんとも魅力的な音楽に変貌するヴィトマン・マジックである。

名演奏家兼作曲家でなければ不可能な、クラリネット楽器から驚くほど多彩な声を引き出す無伴奏独奏を聴かせたマルチタレントは、最後に「ジュピター」の楽譜を持ち出す。OEKが巨匠から若手まで様々な指揮者で披露してきた天下の名曲が、異才の指揮棒を通してどう変貌するやら、想像も付かない。

コンサートホール

◎14:00開演(13:00開場)

○指揮&クラリネット:イェルク・ヴィトマン

メンデルスゾーン(ヴィトマン編曲)/
アンダンテ(クラリネット・ソナタより)
メンデルスゾーン/序曲「フィンガルの洞窟」
ヴィトマン/コン・プリオ
ヴィトマン/ソロ・クラリネットのためのファンタジー
モーツァルト/交響曲 第41番「ジュピター」

【全席指定】SS席 ¥6,000/S席 ¥5,000

A席 ¥4,000/B席 ¥3,000

スターライト席 ¥1,000

*25歳以下当日券50%割引(要証明書類/前日より予約可能)

発売日 1/11(水)10:00~

3/21
(火・祝)

第466回定期公演 フィルハーモニー・シリーズ

(東京公演 3/21(水)18:30~ サントリーホール)

OEKアーティストック・リーダー 広上淳一の王道プログラム。米元響子と共に奏でる美しい古典の数々

広上淳一(指揮)



米元響子(ヴァイオリン)



アーティストック・リーダーに就任した広上淳一、「英雄」をひさげた就任直後の定期及び関西遠征に続き、東京公演を控えた再度の定期演奏会でいよいよ芸術指導者の本領発揮。逃げも隠れもしない、室内管のための王道プログラムである。

10代最後のシューベルトが綴った愛らしい第5交響曲が必要とする管楽器は、一人のフルートにオーボエ、ファゴット、ホルンが二人のみ。クラリネットもティンパニーもない文字通りの室内管で、ハイドンやモーツァルトらが遺した姿を踏襲する。とはいえ若者は偉大な先輩をただ真似たのではなく、隅から隅までチャーミングな歌の作家

のキャラに満ちた音楽だ。正に天才の一筆書きだ。
オーケストラ演奏会の華たる協奏曲は、これまた弦に最小限の管が彩るだけのモーツァルトの楽しい逸品。OEKの前に立つ米元響子が、ソリストとしての輝きだけでなく室内楽巧者としても高く評価される名手なのは、当然、広上の意図だろう。

未だ楽聖の個性が爆発する前の地味な作品と思われがちのベートーヴェン第2交響曲だが、複数の管楽器にトランペットやティンパニーも加わり、弦楽器が良く鳴る二長調で高鳴る大交響曲。古典音楽の神髄が、堂々と展開される。

コンサートホール ◎14:00開演(13:00開場)

○指揮:広上淳一(OEKアーティストック・リーダー) ○ヴァイオリン:米元響子

シューベルト/交響曲 第5番
モーツァルト/ヴァイオリン協奏曲 第4番
ベートーヴェン/交響曲 第2番【全席指定】SS席 ¥6,000
S席 ¥5,000/A席 ¥4,000/B席 ¥3,000
スターライト席 ¥1,000

*25歳以下当日券50%割引(要証明書類/前日より予約可能)

発売日 1/21(土)10:00~

CLOSE-UP PEOPLE

森山開次と音楽堂がタッグを組んだ「芸の鼓動」、
10年の集大成「千手舞道成寺」

—— 舞踊家／演出家の森山開次さんに聞く

舞踊家で演出家の森山開次と北陸三県で活動する邦楽演奏家たちによる舞台シリーズ「芸の鼓動」。2012年から続くシリーズの集大成として、2023年3月12日に「千手舞道成寺」を上演する。僧・安珍に恋の炎を燃やす清姫は、裏切られた怒りで大蛇となり、道成寺の鐘の中に逃げた安珍を焼き殺す。和歌山・道成寺に残るこの物語は能や歌舞伎、文楽などの題材となり、「道成寺物」として親しまれてきた。今回、森山はこの道成寺をテーマにオリジナルの舞台を作り上げる。

常々挑戦したいと思っていた憧れの演目でした。取り組むにあたり、実際に道成寺でご住職にも話を聞きました。道成寺に、いま鐘はありません。これまでのさまざまな道成寺物の上演で、それぞれの心に響く鐘があったのではないかと。その響きこそが道成寺の鐘なのだというお話でした。今回の舞台では観客のみなさんに、笠松泰洋さん(作曲)と藤舎呂英さん(作詞)が中心となって紡ぐ音一つひとつに耳を澄ましていただいて、それぞれの心の鐘が鳴るといいなと思っています。

本公演は道成寺住職の絵解きから始まる。クライマックスは清姫が大蛇となる場面。いしかわ子ども邦楽アンサンブルによる箏演奏に注目したい。

子どもたちが箏を演奏する姿を見ていた時に、約20もの箏がずらりと舞台上に並んで鐘を取り囲んでいるイメージがふと浮かび、これは金沢でしかできない道成寺になると確信しました。タイトルの『千手舞』というのは道成寺のご本尊である千手観音(清姫はその化身と伝わる)にちなんでい

ますが、子どもたちの手も見ていただきたいですね。物語を音楽で解き、身体で紡いでいく「音解き道成寺」とも呼べる作品かもしれません。

鐘が焼け落ち、僧による二人の供養を経て最後、安珍は熊野権現に、清姫は千手観音になり、結ばれる。

二人の主人公の心の昇華・解放とともに、観客のみなさんそれぞれの歩みや生き方の先にも光が見えるように、という思いをこめて演出しています。今回は『受け継ぐ』ということを命題としていました。この作品における藤舎呂英さんとご子息である呂近さん(安珍役)の間でもそれは行われているわけですが、僕自身も作品ができあがる過程で人が成長したり体験したりすることを共有する時間の尊さを感じ入るようになりました。この作品も次代につながっていくことを願っています。(森山開次)



森山開次
Kaiji
Moriyama

©石塚定人

(もりやま・かいじ) 2005年ソロダンス「KATANA」でニューヨークタイムズ紙に「驚異のダンサー」と評され、07年ヴェネチア・ビエンナーレ招聘。13年芸術選奨新人賞。同年文化庁文化交流使。19年「ドン・ジョヴァンニ」(総監督・指揮:井上道義)でオペラ初演出。20年新国立劇場バレエ団「竜宮」演出振付美術衣裳。21年東京パラリンピック開会式演出・チーフ振付。同年カイヤ・サーリアホ作曲のオペラにダンサーとして参加、各国のフェスティバルで上演を重ねるなどダンサー、演出家の両面で活動を広げている。



森山自身が描いた舞台のイメージ



リハーサルの様子

3/12 [日] 14:00開演 (13:15開場) 邦楽ホール

芸の鼓動 ～道成寺～DOJOJI

○演出・振付・舞: 森山開次 ○音楽監修・作曲: 笠松泰洋 ○邦楽囃子作詞: 藤舎呂英
清姫: 森山開次 / 安珍: 藤舎呂近

○演奏: いしかわ子ども邦楽アンサンブル
○ヴァイオリン: ジドレ、坂口昌優 ○ヴィオラ: 般若住子 ○チェロ: ルドヴィート・カンタ
○箏: 元井美智子 ほか ○三味線: 松永忠一郎 ほか ○囃子: 藤舎呂英 ほか

【全席指定】一般 ¥3,500 / 高校生以下 ¥1,500

*邦友会員、一般のみ10%割引

*25歳以下当日券50%割引(要証明書類/前日より予約可能) 発売日1/12(木) 10:00～

豪華出演者による新年の寿ぎ 新春 萬斎の芸能玉手箱



2023年もますますの活躍が楽しみな人気狂言師と歌舞伎俳優、囃子方らが華やかに新年を寿ぐ。ハイライトは、石川県立音楽堂の邦楽監督・野村萬斎と歌舞伎俳優・市川猿之助による「二人三番叟」。めったに観られない二人の共演舞台。強力なエネルギーがぶつかり合うコラボレーションに期待が膨らむ。狂言「福の神」を舞うのは人間国宝で御年91歳の野村万作。圧倒的な存在感と極みの芸に注目したい。

1/28 [土] 14:00開演 (13:00開場)

新春 萬斎の芸能玉手箱

○野村萬斎 ○市川猿之助

素囃子「春の寿」

三響會: 亀井広忠、田中傳左衛門、田中傳次郎

舞踊「七福神」市川猿之助

狂言「福の神」野村万作

トーク 野村萬斎 × 市川猿之助

三響會版「二人三番叟」

野村萬斎 × 市川猿之助、三響會

【全席指定】

SS席 ¥7,000 / S席 ¥4,000

全席完売

¥2,000

能舞、和楽器、オーケストラの共演で
異世界を描き出す「和洋の響」公演。
今回は人間国宝の能舞に加え、初のバレエダンサーが出演

和洋の響

《箏とオーケストラによる3人の「坊」》初演に寄せて

作曲家：柴田誠太郎（募集作品 優秀賞受賞者）

この度「和洋の響 第3回公演」にて《箏とオーケストラによる3人の「坊」》を初演いただきます。本公演にてお世話になります先生方、オーケストラと関係者の皆様に心から感謝いたしております。何卒よろしくお願いいたします。

拙作《箏とオーケストラによる3人の「坊」》について少し解説を。.....「坊」は様々な言葉に付随することができるばかりではなく、その人物像を的確に表し、一種の愛嬌まで与える優れた日本語であ

る。「怒りん坊」「食いしん坊」「甘えん坊」等々.....。このように思っ作曲を進めました。本作品にはたくさんいる「坊」の中から「いぼりん坊」「赤ん坊」「あばれん坊」の3人が登場します。ぜひご来場ください。



梅若桜雪



松井慶太



本島美和

「坊」振付の構想

作曲を手がけられた柴田誠太郎さんの作曲ノートにあった「人って一人ひとり違うんだな」という言葉と曲のタイトル「坊」から世に知られる一休さんこと、一休宗純をイメージしました。

型破りなアプローチで「禅」の本質的な姿を伝えようとする一休宗純と「禅」を一部の人間だけでなく市井の人々にもっと広く届けるべきだと考えた兄弟子・養叟宗願の、対のような二人をバレエダンサー・本島美和さんと能楽師・梅若桜雪さんに演じていただこうと思っています。

今回の振付のテーマは一休宗純の「無繩自縛」という言葉を据えようと思っています。ルールやマナー、常識に無思考で従い続けることで物事や事象の本質的な部分を見つめることを忘れてしまい、自身の

振付：福田紘也

無限の可能性を自分で奪ってしまうことを指していると言われてい

ます。「バレエ」と「能楽」というルールやマナーをたくさん有している文化の道を究め続けるお二人が、互いの「舞」を普段と違う環境で披露するとまるで悟りを開いた二人の僧(もしくは坊)に変化するのではないかと思案しているところです。能に関しては全くの素人である私が梅若桜雪さんとお仕事させていただくことには非常に緊張しておりますが、なかなか巡り会えない機会に胸いっぱいです。



コンサートホール

2/12 [日] 14:00開演 (13:15開場)

和洋の響Ⅲ ～能舞とオーケストラ～

- 監修・案内役：池辺晋一郎（音楽堂洋楽監督）
- 指揮：松井慶太（OEKコンダクター）
- 能舞：梅若桜雪（人間国宝） ○バレエ：本島美和
- 振付・演出：福田紘也 ○箏：金子展寛

柴田誠太郎／箏とオーケストラによる3人の「坊」
ペルリオーズ／序曲「ローマの謝肉祭」
ビゼー／「アルルの女」第1組曲、第2組曲

【全席指定】S席 ¥5,000/A席 ¥4,000/B席 ¥2,500
*OEK定期会員・邦友会 S・A席のみ¥1,000引き
*25歳以下当日券50%割引(要証明書類/前日より予約可能)

MESSAGE

ゆったりと19:15開演。仕事帰りに楽しめる極上の音楽会♪

アフターセブンコンサート 第2回

ドラマティックかつ、会場をあたたく包み込む歌声。
今、絶大な人気を誇るテノール歌手、
笛田博昭がアフターセブンに登場。

2020年の風と緑の楽都音楽祭出演以来、
久々に石川県立音楽堂コンサートホール
で歌います。今回は皆様に馴染みのある
名曲を多くとり入れたので、とても
親しみやすくなっております。
「トゥーランドット」「トスカ」はじめとする名
オペラアリアやイタリアのカンツォーネなど、
しっとりした曲から迫力あるものまで！
ぜひホールでたくさんの方々にお聴きいた
だけることを楽しみにしております。

笛田博昭



田島睦子

感じて、イタリアの風

カプア：オー・ソレ・ミオ
トスティ：理想の人
トスティ：可愛い口元
ジョルダノ：歌劇「アンドレア・シェニエ」より
“ある日青空を眺めて”
ピクシオ：マリウ愛の言葉を
クルティス：帰れソレントへ
ブッチーニ：歌劇「トゥーランドット」より
“誰も寝てはならぬ”
ロータ：ゴッドファーザーより愛のテーマ
ダンニバーレ：太陽の土地
ブッチーニ：歌劇「トスカ」より“星は光りぬ”

1/17 [火]

19:15開演 (18:30開場)

アフターセブンコンサート
第2回

- テノール：笛田博昭
- ピアノ：田島睦子

【全席指定】¥2,500 *OEK定期会員10%割引



山田和樹 × 東京混声合唱団 × OEK

✓ 未来へのメッセージ

クラシック音楽の未来を予感。山田和樹と正面から向き合う合唱の世界

text by 潮 博恵(音楽ジャーナリスト)

毎回指揮台に登場すると、われわれに「クラシック音楽の未来」を予感させてくれる山田和樹が、音楽監督を務める東京混声合唱団(東混)とともにOEKの舞台に帰ってくる。今回はオール合唱団のプログラムだ。

多くの合唱曲を委嘱している東混らしく、彼らが委嘱した作品が並ぶが、武満徹作曲の「うた」は、元々様々な映像作品や舞台のために書かれた曲を合唱用に編曲したもの。無伴奏なので、合唱の魅力をよりダイレクトに味わうことができる。

大木惇夫作詞、佐藤真作曲の混声合唱とオーケストラのためのカンタータ「土の歌」は、岩城宏之の指揮で初演された佐藤の代表曲。特に第7楽章「大地讃頌」は学校の合唱コンクールや

式典などでも取り上げられ、多様な編成もカバーしているので、歌ったことがある方も多いのではなからうか。1962年の作曲だが、自然と人との関わりや祈りといったテーマはまさに今日的。私たちは作品世界に正面から向き合うことを通じて、現代の社会についてもいろいろなことを感じ、考えることとなるに違いない。

山田は昨年BBCプロムスにデビューし、本年4月からはバーミンガム市交響楽団の首席指揮者としても始動する。今年44歳と年齢やキャリア、音楽面すべてにおいて脂がノリノリ。多方面から引っ張りだこなので、OEKとの共演は一回一回が貴重な機会。これは聴き逃さない。



山田和樹

3/15 [水] 19:00開演(18:15開場)

未来へのメッセージ

コンサートホール

- 指揮: 山田和樹
- 合唱: 東京混声合唱団
エンジェルコーラス
- 管弦楽: オーケストラ・アンサンブル金沢

マーラー/花の章
佐藤真/土の歌
武満徹/「うた」よりほか

【全席指定】
S席 ¥5,000/A席 ¥3,000/B席 ¥1,500
*OEK定期会員・邦友会 S席¥1,500引き/A席¥1,000引き

発売日1/15(日)10:00~

✓ 音楽堂カルチャーナビ2022 Vol.7

山田和樹&東京混声合唱団。次世代に紡ぐ合唱の和

text by 潮 博恵(音楽ジャーナリスト)

山田と東混の登場は、コンサートだけでなく、翌日にもお楽しみがある。山田と合唱団メンバーによるワークショップとミニコンサートが開催されるのだ。イベントの趣旨は、市民合唱や児童合唱に参加している人や指導者など合唱に携わる人々を主な対象に、合唱の奥深さを体験し、交流する機会も提供しようというもの。プロの合唱団と直に接することは、日々の活動のヒントや活力を得るまたとないチャンス。ぜひ積極的に活用しよう。

3/16 [木] 交流ホール

19:00開演(18:30開場)

音楽堂カルチャーナビ2022 Vol.7

- 案内役: 山田和樹
- 合唱: 東京混声合唱団

【全席自由】¥1,000 発売日1/15(日)10:00~

*3/15「未来へのメッセージ」
コンサートのチケットをお持ちの方は、500円(窓口販売のみ取り扱い/要チケット提示)

✓ 音楽堂カルチャーナビ2022 Vol.6

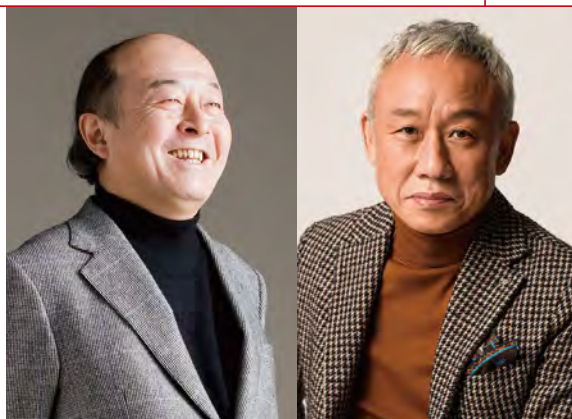
池辺晋一郎×西村まさ彦 スペシャル対談!
舞台と音楽

期待に胸がはずむ、初めての対談 池辺晋一郎

このシリーズでは、以前の「音楽堂アワー」時代から、音楽家のほかに俳優諸氏もかなりお招きしてきました。それは、僕が映画やテレビドラマ、演劇の音楽に数多く関わってきたことに起因します。約80本の映画、おそらく1000本以上のテレビ・ラジオドラマ、そして約520本の演劇に音楽を書いた僕です(石川県との縁はここで欠かせません。能登演劇堂に設立当初からこんにちまで関わっているのですから)。それらの仕事を通して、同じとき同じ現場にいたこと、それゆえに体験した舞台裏のできごとや事情、それゆえに知り得たその人のキャラク

ター等々——いくらでも話がありました。

ところが、西村まさ彦さんとは、一度も一緒に仕事をしたことがないのです。不思議としか思えない。しかし、これはむしろ新鮮です。どんな話になるか……。もしかしたら「濃厚接触の一手前前」があったかもしれない。共通の友や仕事仲間の名前が出るかもしれない。期待に胸がはずみます。



池辺晋一郎

西村まさ彦

2/6 [月] 19:00開演(18:30開場) 交流ホール

音楽堂カルチャーナビ2022 Vol.6

池辺晋一郎×西村まさ彦 スペシャル対談! 舞台と音楽

- ナビゲーター: 池辺晋一郎(県立音楽堂洋楽監督)
- ゲスト: 西村まさ彦

【全席自由】¥1,000 *2/5 ファンタスティック・オーケストラコンサートのチケットをお持ちの方は、500円(窓口販売のみ取り扱い/要チケット提示)

3月31日は
ミミにイチバン!

楽しもう! 3月31日は「オーケストラの日」

あなたの“推し”になりたくて。
オーケストラ・アンサンブル金沢をもっと身近に!

全国38のプロ・オーケストラでは、ひとりでも多くの方がオーケストラ音楽に親しみ、オーケストラをもっと身近に感じて頂くきっかけを作ろうと、3月31日をミミにイチバン!「オーケストラの日」として、それぞれの地域で工夫を凝らした公演を展開しています。

オーケストラ・アンサンブル金沢でも毎年、地域の皆様にもっとオーケストラを知っていただくこと、様々な趣向を凝らし、クラシック音楽を気軽に楽しんでいただけてきました。今年も3月31日はどうぞコンサートホールへお越しください。きっと、楽しい公演の後は大人も子供もクラシック音楽を口ずさみながら会場を後にすることでしょう。

コンサートホール

3/31 [金]
14:00開演 (13:00開場)

オーケストラの日

○松井慶太 (OEKコンダクター)

【全席自由】
一般 ¥1,000 / 小学生以下無料
3歳以上入場可
定期会員・賛助会員招待







あのフレッシュな3人のピアニストが音楽堂に帰ってくる! 今回はランチタイムに登場

北陸新人登竜門コンサート2021 優秀者によるピアノコンサート



篠永紗也子

ラヴェル/「鏡」より 洋上の小舟
スクリャービン/ピアノ・ソナタ 第4番

幼少期、毎晩愛聴していたCDがラヴェルの作品集でした。『洋上の小舟』は、私が初めて憧れのラヴェルデビューを果たした、思い出の一曲です。スクリャービンの『ソナタ4番』は、神秘和音が美しく、太陽へ向かって飛翔するラストは何度聴いても(弾いても)ゾクゾクします。実はラヴェルの『鏡』(洋上の小舟が含まれている組曲)の初演日、そしてスクリャービンの誕生日が私の誕生日と同じということもあり、個人的に何か運命を感じております...! どちらも素晴らしい作品ですので、是非楽しみにお聴き下さい。



石田詩葉

ベートーヴェン/6つのバガテル
ベートーヴェン/ピアノ・ソナタ 第32番

この度私が演奏する曲は、どちらもベートーヴェンが晩年に書き上げた作品です。ベートーヴェンは、私が幼い頃から一番苦手意識の強い作曲家でした。初期や中期作品の華やかさ、ドラマチックさに足がすくんでいたのだと思います。それが、大学院で晩年の作品を深く学ぶうちに、彼の円熟した音楽、作品に対する熱量、その音楽への貪欲さに魅了されていきました。私が今感じる彼のメッセージを、皆様と共有したいと強く願っています。



柳原奈侑

シューマン/幻想曲ハ長調より
ショパン/エチュード第12番
第1楽章「革命」
ショパン/エチュード第11番「木枯らし」

今回ロマン派を代表する作曲家2人を取り上げました。ショパンは比較的聴き馴染みのある作品で、実にピアニスティックです。シューマンは詩的要素、そして献呈したベートーヴェンへの尊敬心が強く、ショパンとはまた違った形の訴えのようなものを感じます。同じ時代の作品の違いをぜひお楽しみください。



1/24 [火] 12:15開演 (11:30開場) **コンサートホール** 【全席指定】 ¥500

ランチタイムコンサート PianoPianoPiano ○篠永紗也子 ○石田詩葉 ○柳原奈侑

新しい民謡の世界

歌い継がれる民謡の新しい世界を、様々な楽器と共にじっくり味わう贅沢なコンサート



民謡歌手 加賀山紋

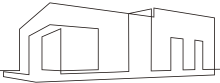
古くから、人々の心の中にあつた日本民謡は、どこか私たちの心を強く打つものがあります。次の世代に歌い継ぎ一人でも多くの方に親んでいただくため、民謡の可能性を追求し新しいスタイルで日本民謡をお届けいたします。今回は、三味線、胡弓の他に民謡を演奏する楽器としてあまり使われない和楽器琴、低音が魅力の西洋楽器チェロを加えて日本民謡を中心に皆さんに馴染みのある曲も演奏致します。新しい民謡の世界を皆さんに親んでいただき改めて日本の音を感じていただければと思います。

3/23 [木] 12:15開演 (11:30開場)

ランチタイムコンサート **コンサートホール**
新しい民謡の世界

○歌:加賀山紋 【全席指定】 ¥500

Artist meets Kanazawa craft



金沢百番街



石川県立音楽堂

伝統をアップデートして、
確固たる文化のある金沢に
さらに新風を吹かせたい。



撮影協力:ル・コタンタン金沢
撮影場所:カフェ・コンチェルト(音楽堂コンサートホール2F)

狂言師・石川県立音楽堂 邦楽監督

野村萬齋さん (東京都出身)

演出で、とても頭を使う時に甘い物をよく口にするようになりました。「きんつば」は和菓子のなかでも好きなお菓子の一つですが、「きんつばビスキ」は伝統的なものと洋のコラボレートによってさらに現代的な魅力をまとった好例と言えますよね。芸能文化に関しても、伝統を生かしつつ現代的にアップデートすることで、金沢の魅力ももっと広がるのではないかと思います。

金沢は、いろんなものがシンプルかつコンパクトにまとまっていて、一日でもかなりいろんなところを回れるというのがいいですね。そして、アイデンティティがとてもある街。確固たる文化のある金沢ですが、邦楽監督として、そこへさらに新風を吹かせたいですね。

2021年の邦楽監督就任記念公演では、石川のみなさんにも舞台上に登場していただきました。とても感謝しています。「お話と音楽で楽しむ萬齋の世界」(2022年11月13日開催)での子どもたちとのふれ

あいも興味深かったです。子どもはとても正直ですから、大人よりも手強いですよ。子どもの素直な部分に響くかどうかというのは、アーティストの根源的な価値を問われることなのではないかと思っています。

1月には市川猿之助さんと「二人三番叟」を披露します(2023年1月28日開催「新春 萬齋の芸能玉手箱」:狂言「福の神」野村万作、三響會版「二人三番叟」野村萬齋×市川猿之助ほか)。猿之助さんとは映画でも共演していますが、まるでゴムのように弾力があってしなやかで、身体能力が素晴らしいですね。「三番叟」ではいろんな方と共演してきましたが、今回は、またひと味違うコラボレーションになると思います。91歳の父 野村万作による「福の神」はどちらかというと祝言性の高い狂言ですが、人間の福々しきや厚みが引き出される演目です。ぜひご覧ください。

▶ Profile

野村萬齋 Nomura Mansai

狂言師・石川県立音楽堂 邦楽監督

祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。東京芸術大学音楽学部卒業。「狂言ござる乃座」主宰。国内外で多数の狂言・能公演に参加、普及に貢献する一方、現代劇や映画・テレビドラマの主演、舞台『敦一山月記・名人伝一』『国盗人』など古典の技法を駆使した作品の演出、NHK『にほんごであそぼ』への出演など幅広く活躍。東京藝術大学客員教授。石川県立音楽堂邦楽監督。全国公立文化施設協会会長。

SHOP INFO

ル・コタンタン金沢

石川県金沢市木ノ新保町1-1
JR金沢駅直結 金沢百番街「あん」と内

TEL 076-208-4077
URL <https://lecotentin-kanazawa.com/>

〈営業時間〉8:30~20:00
〈定休日〉不定休

石川県立音楽堂主催 & OEK公演スケジュール 1月～3月

コンサートホール

1.7 [土] 14:00開演(13:00開場) イベント 25

オーストリアンソング金沢
第462回定期公演 フィルハーモニー・シリーズ



●指揮:川瀬賢太郎(OEKパーマネント・コンダクター)
●チェロ:宮田大

リゲティ/ルーマニア協奏曲
チャイコフスキー/ロココ風の主題による変奏曲
ベートーヴェン/交響曲 第8番

【全席指定】SS席 ¥7,000/S席 ¥6,000/A席 ¥5,000
B席 ¥3,000/スターライト席 ¥1,500

*25歳以下当日券50%割引(要証明書類/前日より予約可能)

コンサートホール

1.17 [火] 19:15開演(18:30開場) イベント

アフターセブンコンサート 第2回



●テノール:苗田博昭 ●ピアノ:田島睦子

プッチーニ/「トスカ」より 星は光りぬ
ジョルダノ/「アンドレア・シェニエ」より
ある日青空を眺めて
プッチーニ/「トゥーランドット」より 誰も寝てはならぬ ほか
【全席指定】¥2,500 *OEK定期会員10%割引

コンサートホール

1.24 [火] 12:15開演(11:30開場) 安

ランチタイムコンサート PianoPianoPiano



●篠永紗也子 ラヴェル/「鏡」より 洋上の小舟
スクリャーピン/ピアノ・ソナタ 第4番
●石田詩葉 ベートーヴェン/6つのバガテル
ベートーヴェン/ピアノ・ソナタ 第32番
●柳原奈侑 シューマン/幻想曲ハ長調より
ショパン/エチュード第12番 第1楽章「革命」
ショパン/エチュード第11番「木枯らし」
【全席指定】¥500

コンサートホール

1.28 [土] 14:00開演(13:00開場) イベント 25

オーストリアンソング金沢
第463回定期公演 マイスター・シリーズ



●指揮:ピエール・デュムゾー

メニュー/アン・レゾナンス(共鳴の中で)
ラヴェル/マ・メール・ロフ(バレエ全曲版)
プーランク/シンフォニエッタ

【全席指定】SS席 ¥6,000/S席 ¥5,000/A席 ¥4,000
B席 ¥3,000/スターライト席 ¥1,000

*25歳以下当日券50%割引(要証明書類/前日より予約可能)

邦楽ホール

1.28 [土] 14:00開演(13:00開場) イベント

新春 萬斎の芸能玉手箱



●野村萬斎 ●市川猿之助

素囃子「春の寿」 亀井広忠、田中傳左衛門、田中傳次郎
舞踊「七福神」市川猿之助
狂言「福の神」野村万作

トーク 野村萬斎 × 市川猿之助
三響會版「二人三番叟」野村萬斎 × 市川猿之助

【全席指定】SS席 ¥7,000 完売 4,000/G席 ¥2,000

コンサートホール

2.5 [日] 開演14:00(開場13:00) 25

オーストリアンソング金沢
ファンタスティック・オーケストラコンサート



●語り:西村まさ彦 ●指揮:板倉康明

●ヴァイオリン:近藤薫

●三味線:本條秀慈郎

●ピアノ:平井卓、藤原亜美

サン＝サーンス/動物の謝肉祭 語り:西村まさ彦
一柳慧/ヴァイオリンと三味線のための二重協奏曲
モンタルベッティ/都市へと開ける同時的な窓(2019)

【全席指定】SS席 ¥6,000/S席 ¥5,000/A席 ¥4,000/B席 ¥3,000

*25歳以下当日券50%割引(要証明書類/前日より予約可能)

交流ホール

2.6 [月] 19:00開演(18:30開場) 安

音楽堂カルチャーナビ2022 Vol.6
池辺晋一郎×西村まさ彦 スペシャル対談!
舞台と音楽



●ナビゲーター:池辺晋一郎(県立音楽堂洋楽監督)

●ゲスト:西村まさ彦

【全席自由】¥1,000

*2/5 ファンタスティック・オーケストラコンサートのチケットをお持ちの方は、
500円(窓口販売のみの取り扱い/要チケット提示)

コンサートホール

2.12 [日] 14:00開演(13:15開場) 25

オーストリアンソング金沢
和洋の響Ⅲ ～能舞とオーケストラ～



●監修・案内役:池辺晋一郎(県立音楽堂洋楽監督)

●指揮:松井慶太(OEKコンダクター)

●能舞:梅若桜雪(人間国宝) ●バレエ:本島美和

●振付・演出:福田紘也 ●箏:金子展寛

柴田誠太郎/箏とオーケストラによる3人の「坊」 世界初演
ベルリオーズ/序曲「ローマの謝肉祭」
ビゼー/「アルルの女」第1組曲 第2組曲

【全席指定】S席 ¥5,000/A席 ¥4,000/B席 ¥2,500

*OEK定期会員・邦友会 S・A席のみ¥1,000引き

*25歳以下当日券50%割引(要証明書類/前日より予約可能)

コンサートホール

2.19 [日] 14:00開演(13:00開場) 25

オーストリアンソング金沢
第464回定期公演 フィルハーモニー・シリーズ



●指揮&チェンバロ:鈴木優人

C.P.E.バッハ/シンフォニア ト長調

ハイドン/チェンバロ協奏曲 二長調

C.P.E.バッハ/シンフォニア 変ホ長調

ハイドン/交響曲第100番「太鼓連打」

【全席指定】SS席 ¥6,000/S席 ¥5,000/A席 ¥4,000

B席 ¥3,000/スターライト席 ¥1,000

*25歳以下当日券50%割引(要証明書類/前日より予約可能)

3.11 [土] 14:00開演(13:00開場) 25

オーケストラアンサンブル金沢 第465回定期公演マイスター・シリーズ



指揮&クラリネット:イェルク・ヴェイトマン
メンデルスゾーン(ヴェイトマン編曲) / アンダンテ(クラリネット・ソナタより)
メンデルスゾーン / 序曲「フィンガルの洞窟」
ヴェイトマン / コン・プリオ
ヴェイトマン / ソロ・クラリネットのためのファンタジー
モーツァルト / 交響曲 第41番「ジュピター」

【全席指定】SS席 ¥6,000 / S席 ¥5,000
A席 ¥4,000 / B席 ¥3,000 / スターライト席 ¥1,000
*25歳以下当日券50%割引 (要証明書類/前日より予約可能) 発売日1/11(水) 10:00~

3.12 [日] 14:00開演(13:15開場) 25

芸の鼓動



音楽と舞台 ~道成寺~ DOJOJI

演出・振付:森山開次 作曲:笠松泰洋
出演:森山開次、藤舎呂近
いしかわ子どもアンサンブル
ジドレ、坂口昌優、般若佳子
ルドヴィート・カンタ

【全席指定】一般 ¥3,500 / 学生 ¥1,500
*邦友会員、一般のみ10%割引
*25歳以下当日券50%割引 (要証明書類/前日より予約可能) 発売日1/12(木) 10:00~

3.15 [水] 19:00開演(18:15開場)

未来へのメッセージ



指揮:山田和樹
合唱:東京混声合唱団、OEKエンジェルコーラス
管弦楽:オーケストラ・アンサンブル金沢

佐藤真 / 土の歌 武満徹 / 「うた」より ほか
【全席指定】S席 ¥5,000 / A席 ¥3,000
B席 ¥1,500 発売日1/15(日) 10:00~

3.16 [木] 19:00開演(18:30開場) 安

音楽堂カルチャーナビ2022 Vol.7

案内役:山田和樹
合唱:東京混声合唱団



【全席自由】¥1,000 発売日1/15(日) 10:00~
*3/15「未来へのメッセージ」コンサートのチケットをお持ちの方は、500円(窓口販売のみ取り扱い/要チケット提示)

コンサートホール

3.21 [火・祝] 14:00開演(13:00開場) 25

オーケストラアンサンブル金沢 第466回定期公演 フィルハーモニーシリーズ



指揮:広上淳一(OEKアーティストック・リーダー)
ヴァイオリン:米元響子
シューベルト / 交響曲 第5番
モーツァルト / ヴァイオリン協奏曲 第4番
ベートーヴェン / 交響曲 第2番

【全席指定】SS席 ¥6,000 / S席 ¥5,000
A席 ¥4,000 / B席 ¥3,000 / スターライト席 ¥1,000
*25歳以下当日券50%割引 (要証明書類/前日より予約可能) 発売日1/21(日) 10:00~

コンサートホール

3.23 [木] 12:15開演(11:30開場) 安

ランチタイムコンサート 新しい民謡の世界



歌・胡弓・三味線:加賀山紋
箏:北村雅恋 チェロ:富田祥
こざりこ、山中節、風の通り道 ほか

【全席指定】¥500 発売日1/23(月) 10:00~

コンサートホール

3.26 [日] 14:00開演(13:00開場) 安

石川県ジュニアオーケストラ 第29回 定期演奏会



指揮:鈴木織衛 ゲスト指揮:松井慶太
ドヴォルザーク / 交響曲 第9番「新世界より」
スッペ / 喜歌劇「詩人と農夫」より序曲
久石譲 / サマー、

あの夏へ〜ピアノとオーケストラのための
魔女の宅急便〜ピアノ、打楽器と弦楽のための

【全席自由】入場無料(要入場整理券)

コンサートホール

3.31 [金] 14:00開演(13:00開場) 安

オーケストラアンサンブル金沢 オーケストラの日



指揮:松井慶太(OEKコンダクター)
【全席自由】一般 ¥1,000 / 小学生以下無料
3歳以上入場可 定期会員・賛助会員招待

オーケストラアンサンブル金沢 石川県立音楽堂以外の公演

1.8 [日] 14:00開演(13:15開場)
ラポールニューイヤー2023

1/7(土) 金沢公演に同じ

【全席指定】一般 ¥3,000(会員 ¥2,700 / 当日 ¥3,500) / 高校生以下 ¥1,000(会員 ¥900)
〈会場〉アイザック小杉文化ホール ラポール
〈問合せ〉アイザック小杉文化ホール TEL.0766-56-1515



1.9 [月・祝] 16:00開演(15:15開場)

岩国公演 1/7(土) 金沢公演に同じ

【全席指定】S席 ¥6,000 / A席 ¥5,000 / 親子ペア ¥7,000 / 学生(25歳以下) ¥1,000
「友の会」S席 ¥5,400 / A席 ¥4,500
〈会場〉シンフォニア岩国 コンサートホール
〈問合せ〉シンフォニア岩国 TEL.0827-29-1600

1.14 [土] 開演15:00(開場14:15)
藤田真央プレイズ・モーツァルト 松本公演

ピアノ:藤田真央 指揮:アレクサンドロ・ボナート
モーツァルト / ピアノ協奏曲 第21番、交響曲 第40番、ピアノ協奏曲 第27番

【全席指定】S席 ¥8,000 / A席 ¥6,000 / B席 ¥4,000
〈会場〉キッセイ文化ホール 大ホール
〈問合せ〉オフィス・マユ TEL.026-226-1001

1.15 [日] 開演15:00(開場14:15)

宇都宮公演 1/14(土)公演に同じ

【全席指定】S席 ¥7,000 / A席 ¥5,000 / B席 ¥3,000
B席(学生) ¥2,000 / 車いす ¥2,500
〈会場〉栃木県総合文化センター メインホール
〈問合せ〉栃木県総合文化センター プレイガイド TEL.028-643-1013

1.16 [月] 開演19:00(開場18:15)

武蔵野公演 1/14(土)公演に同じ

【全席指定】S席 ¥8,000 / A席 ¥7,000 / 友の会 S席 ¥7,000 / 友の会 A席 ¥6,000 / 25歳以下 ¥2,000(要証明書類・枚数限定)
〈会場〉武蔵野市民文化会館 大ホール
〈問合せ〉武蔵野文化生涯学習事業団チケット専用予約 TEL.0422-54-201

完売

1.22 [日] 14:00開演(13:15開場)

静岡公演

指揮:角田鋼亮 チェロ:宮田大
ドビュッシー / 小組曲
カバレフスキー / チェロ協奏曲第1番
モーツァルト / 歌劇「フィガロの結婚」序曲、交響曲第41番「ジュピター」

【全席指定】S席 ¥4,800 / A席 ¥3,800 / こども・学生 ¥1,000
〈会場〉三島市民文化会館ゆうゆうホール大ホール
〈問合せ〉グランシップチケットセンター TEL.054-289-9000



3.22 [水] 18:30開演(17:45開場) 25

第39回東京定期公演 3/21(火・祝) 金沢公演に同じ

指揮:広上淳一 ヴァイオリン:米元響子
【全席指定】S席 ¥6,000 / A席 ¥5,000 / B席 ¥4,000 / C席 ¥2,000
*25歳以下当日券50%割引(要証明書類/前日よりチケットボックスで予約可能)
〈会場〉サントリーホール
〈問合せ〉(公財)石川県音楽文化振興事業団 TEL.076-232-8111

3.25 [土] 14:00開演(13:15開場)

レ・フレール with オーケストラ・アンサンブル金沢
スペシャルコンサート

指揮:角田鋼亮 ピアノ:レ・フレール
【全席指定】S席 ¥6,000 / A席 ¥5,000 / B席 ¥4,000
〈会場〉不二羽鳥文化センター スカイホール
〈問合せ〉不二羽鳥文化センター TEL.058-393-2231



大好評!



音楽堂トークサロン@資料室

Vol.2 今回のテーマはエルサレムです!

日時 3/9(木) 14:00-15:00

場所 石川県立音楽堂 資料室(地下一階)



お話 水谷元 (元OEKオーボエ奏者)



3つの宗教の聖地として古くから栄えるエルサレム。旧市街の様子や「マタイ受難曲」に出てくるゴルゴタの丘への道と一緒にたどってみましょう。また、著名な音楽家を輩出しているイスラエルとはいったいどんなところでしょいか。それはおどろきの連続なんです。

参加無料

申し込み

石川県立音楽堂/(公財)石川県音楽文化振興事業団
TEL.076-232-8111 (要申し込み・定員あり)

引き続き大募集!

オーケストラ・アンサンブル金沢

定期会員



途中入会のお知らせ

オーケストラ・アンサンブル金沢の魅力的な公演を、お得な値段でお楽しみいただける定期会員に途中からでも入会可能になりました。是非この機会に、会員になってみませんか?

- 1 あなただけのお座席
- 2 お得な価格
- 3 各種特典

3つのシリーズからお選びいただけます。

フィルハーモニー・シリーズ

マイスター・シリーズ

ファンタスティック・シリーズ

途中入会料金については下記までお問い合わせください。

お問い合わせ 定期会員係 076-232-8571

コンサートの合間に癒しのひとときを

音楽堂コンサートホール2階

2023年もカフェ・コンチェルトをオープンします!



美味しいコーヒーやお菓子を準備して皆様のお越しをお待ちしております。出演者がカフェに顔を出すサプライズがあるかも!? どうぞお楽しみに。



1/7

第462定期公演 金澤ちとせ珈琲

長く金沢駅で地元の人々に愛された老舗カフェが登場。豊かな香りとコク、専門店ならではの味をクラシック音楽と併にお楽しみください。



1/28

新春萬齋の芸能玉手箱 茶菓工房たろう

新しくおしゃれな和菓子を発信する「たろう」が邦楽ホールに登場。人気の美しい和菓子とお茶をどうぞ。



3/31

オーケストラの日2023 謎屋珈琲店

オーケストラの日には、日本初のミステリーカフェが出店。ドリンクは親子で挑戦できる「クイズ」付! 自家焙煎の本格派コーヒーと謎解きをお楽しみください。



カフェ・コンチェルト
~その他のオープンスケジュール~
(都合により変更する場合があります)

1/28 第463回定期公演

2/5 ファンタスティック
オーケストラコンサート

2/12 和洋の響

2/19 第464回定期公演

3/11 第465回定期公演

3/15 山田和樹@音楽堂
“未来へのメッセージ”

3/21 第466回定期公演

人気カフェが続々登場予定!!



石川県立音楽堂

オーケストラ・アンサンブル金沢

チケットのお求め

石川県立音楽堂チケットボックス (石川県立音楽堂1F) TEL 076-232-8632

〈窓口〉9時~19時
〈電話〉10時~18時

(公財)石川県音楽文化振興事業団 石川県金沢市昭和町20-1 TEL 076-232-8111
アクセス: JR北陸線 金沢駅兼六園口(東口)徒歩1分 / 北鉄バス 金沢駅下車

石川県立音楽堂HP
<https://www.ongakudo.jp>



オーケストラ・アンサンブル金沢HP
<https://www.oek.jp>

